

「届けよう看護の声を！  
私たちの未来へ」

## 会長より

2023年度看護連盟会員募集中です。  
1日22円、365日、1年間で8,000円の費用で看護連盟の会員として登録ができます。

兵庫県看護連盟の皆様、常日頃から、看護連盟の活動にご協力をいただきありがとうございます。冒頭からお金の話題をいきなり出させていただきました。実はこの話には、訳があります。看護職の就業人口は増え続けています。国の施策事業で、人材確保は法律で決められているからです。年間、看護職は約6万人以上の国家資格合格者を出し、社会人になっています。しかしながら、看護職能団体である看護協会と看護連盟の会員は減り続けています。その理由の一つに、看護教育（基礎教育・卒後教育とも）が充実し、福利厚生が充実し不便さを感じていないことで、職能団体に帰属する意味がないと考えている看護職が圧倒的に多いと言われてます。

（いうなれば、職能団体のメリットがない）本当にそうなのでしょうか？

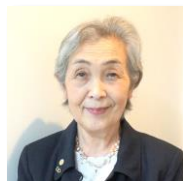
2022年、今年、看護史上初めて（戦後77年）、賃金向上が決定しました。これは、看護協会と看護連盟がともに国政に働きかけた結果です。国政に看護職代表を送った成果でもあります。さらに、賃金向上の処遇改善はコロナ禍を支えた看護職への感謝であるとともに、次世代の看護の提供が問われることに直結します。

看護連盟の会員の皆様はどうかこのことを、職場で話題にさせていただきたいと思います。看護協会・看護連盟がともに連携することで、創造する看護の未来を信じ、「看護の大きな声」を結集しさらに、政治に届くようにしましょう。

政策実現は少数ではなく「大きな数の力」が必要です。一部の人が処遇改善のために声を出しても歴史が証明するように半世紀以上かかります。ちなみに、過去5年間で日本看護連盟は1万人から1.5万人の減少、兵庫県看護連盟も毎年100人以上の減少です。2020年、日本看護連盟の会員数は190,570、兵庫県看護連盟会員数は5,941と今までにない厳しい会員減少です。

若い世代を中心に、看護師の免許を取得して一度も看護協会や看護連盟に入会していない看護職が増え続けています。看護協会と看護連盟はともに看護の発展を推進できる唯一の団体です。身近な看護職の友人にぜひ、お声をかけていただきますようお願いいたします。

（なお、看護協会・看護連盟入会や活動につきましてはホームページをご参考になさってください。）

兵庫県看護連盟  
会長 服部 玲子

## 報告

## 近畿ブロック協議会看護管理者等政策セミナー

日時：2022年10月15日（土）10:00～16:00

会場：滋賀県草津市 クサツエストピアホテル（ハイブリット）

参加者数：会場 80名（兵庫県9名）、オンライン 54名（兵庫県27名）

プログラム：10:00 開講式

10:20 「看護の視点からの政策実現に向けた取り組み」 大津市議会議員 井内 律子

11:10 「日本看護協会の重点政策と重点事業」 日本看護協会 常任理事 田母神 裕美

12:40 「国政と看護政策 政策実現に向けた取り組み」 参議院議員 石田 昌宏・友納 理緒

13:20 「看護の動向」 参議院議員 こやり 隆史

14:10 パネルディスカッション テーマ：「ワークライフインテグレーションをめざして」

～ひとり一人の看護職がより充実した人生を生きるための働き方を考える～

16:00 閉会

兵庫県のパネリスト  
永原 郁子さん

## 参加者より



## 北播支部 藤本 英子

今回、テーマに惹かれ参加させていただきました。

会場とオンラインの参加があり、パネルディスカッションにおいて、1府4県から選出された5名の登壇者の報告は、長年培ってきたそれぞれのワークバランスや看護管理者としてのあり方など、どなたからも熱い思いが伝わり、大きく傾き身を乗り出すようにして聞き入っていました。

とりわけ会場で関心が高かった取組みは、兵庫県の【小さないのちのドア】代表理事永原さんの「自殺を思いとどまった妊娠した高校生の事例」で、24時間体制の相談や具体的に絵本と音楽を用いた個別な支援でした。十分な支援制度が整っていない現状にもかかわらず果敢に、知恵を絞って多職種がチームで関わり、小さないのちと若いお母さんの人生をも救うことに感銘を受けました。

またビデオにより参議院議員の石田昌宏氏と友納理緒氏の活動報告があり、帰路の電車の中で、働き始めたころから今までの自分自身の生き方や働き方（看護）を振り返る機会となりました。

## 神戸西部支部 西岡 由美

看護を取り巻く問題。中でも人材不足は、悪循環の根源です。

看護師を「待遇改善で魅力ある職業に」！

その為の、新たな概念がワークライフインテグレーションです。この度の研修で他施設の取り組みを知ることができ、参考になりました。壇上の皆さんのお話を聞いて思うのは、やはりできるだけ多くの

看護師が情報を共有・共感し、自分達の問題の解決に自分達も取り組めると感じることだと思いました。看護師の多様化する働き方やワークライフインテグレーションを概念で終わらせずに実用的なものとしていくには、看護師間だけでなく、全ての看護に係わる人々との連携や支えあいが必要です。今日の体験を現場のスタッフにも伝えていこうと思います。

# 「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」につなぐ

特定非営利活動法人神戸なごみの家/  
訪問看護ステーションあさんて・はな  
がん看護専門看護師 藤原 由佳

「未来の看護」に向け、看護師としての自身の「ライフストーリー」を紐解きます。

看護師免許を取得して、早、35年が経過しました。この間、職場を何度か変わった私は、「一体、私は何をしたいんだろう?」「こんなに職場を点々として、自分自身に軸がない」と、思うことがあり、キャリアの一貫性のなさを感じていました。

また、新しい役割を引き受けて仕事に慣れない時は、心が折れそうなことも…。

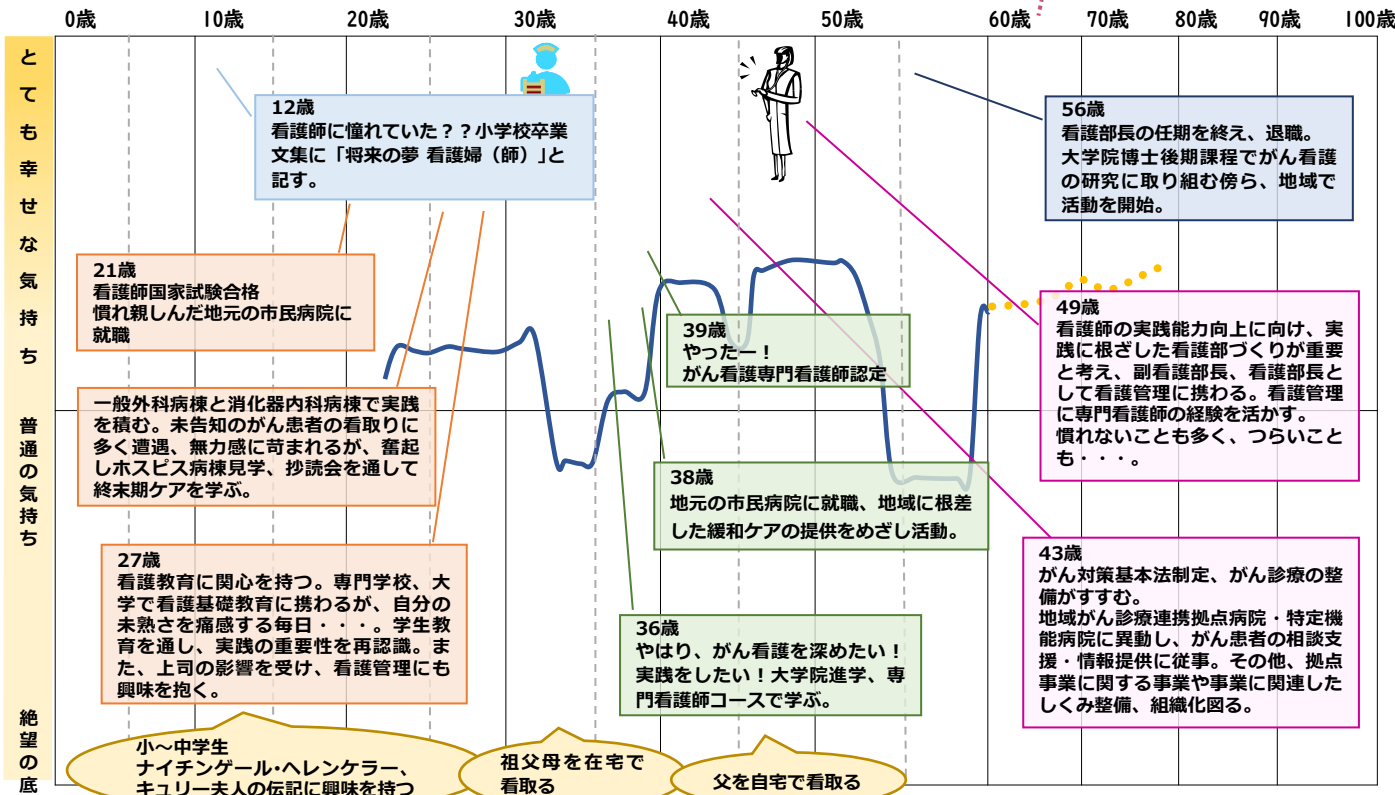
しかし今回、ライフストーリーを振り返ることで、各々の職場で興味・関心をもったことや生活体験がその後の役割につながり、自分自身のキャリア

を形成していることに気づきました。

つまり、根底には一人の人間として自律し自分の役割発揮したい思いがあり、私を惹きつけるものは「がん看護」「地域・在宅」であることが明確になりました。

今後、更に10年、15年と地域・在宅の場でがん看護を軸にしキャリアを積んでいきたいと思っています。

今後の10~15年間は、医療・ケアを必要としている人がスムーズに支援を受けることができる地域づくりを目指し、地域に軸足をおいて活動したいと夢見ています。



## 青年部(Po-mellon)活動報告

### 相生看護専門学校文化祭に参加しました

日時:2022年10月29日(土) 9:00~12:00

参加者:青年部4名、日本看護連盟岡山幹事(オブザーバー)、  
服部会長、藤田幹事長

相生市看護専門学校では文化祭でブース出店をさせていただきました。「看護の未来を語る」と題して、学生の皆さんがこれから飛びたつ未来はどんな未来になっているのか、自動運転やスマート農業、Amazon Go、宇宙エレベーターなど、将来実現すると言われている社会の変化、そして看護・医療現場の未来予測をプレゼンさせていただきました。

看護職の給料表には、学生たちは声をそろえて「え〜・・・」と驚き、ざわついていました。

ブースには総勢80名ほどの学生さんや卒業生の方がきてくださり、めっちゃくちゃ盛り上がりました!



「ハロウィンのメガネで何が見える?」



ハロウィンの眼鏡をかけ、ステージ衣装で参加する学生さんたちふざけている?いえいえ、とても熱心に未来を語る青年部の講義を聞いています!



## 青年部(Po-mellon) 今後の予定

- 2月(日時未定)第3回青年部ブロック会議
- 3月4日(土) ポリナビワークショップin Hyogo

まずは、インスタグラムを開いてみて下さい



## 「 淡路島 」

淡路島は古くから「国生みの島」「花とミルクとオレンジの島」と親しまれ、魅力ある島です。

明石海峡大橋の開通により便利になり生活面での環境も大きく変わりました。ここ数年、目まぐるしく発展しています。素敵なホテルや別荘が立ち並び、インスタ映えする施設・店舗・グルメ・・・テレビで数々紹介され、若い人々で賑わっています。



待ってるなあ〜



来てはあ〜



「ここはどこ?」「これは何・・・?」と思うこともあります。が、活気あり、元気な島はうれしく思います。

瀬戸内に沈む夕陽は美しく「日本の夕日百選」に選ばれている島の西側は、かつては「西浦」と呼ばれる素朴な土地でしたが、今は「西海岸」となり、夢ある場所に変貌しています。

まだまだ自然一杯、四季折々の草花、海・山・里の幸、そして温泉・・・

ぜひ遊びに来てください。

東播地区幹事：船越 純子

## 会員のつぼやき

これまでは、私から子どもたちにこれがいいから読んでみてと与えることが多かったが、長女からある本を勧められた。久しぶりに読んでよかったと思える本と出会えた。

「運転者」未来を変える過去からの使者という、喜多川泰著の本。

「運は良い悪いじゃなく、貯めて使うもの」

「運は、自分がしてあげたことと、してもらったことの差」

「上機嫌でいたら少しずつ運が溜まり、運を使う機会もあり、運の転機を察知することができる」

努力に対して結果が出なかったら「運が貯まった」努力が報われたら「運が使われた」と考えると気持ちを落ち着かせる。

この本を読む前から、仕事で新しい人に親切にしたら、子ども達が優しく教えてもらって親切にもらえるかな?と言ってきたことを思い出した。

この本を読んで、看護連盟の会員、役員の人たちは、自分の為だけでなく看護の未来のために運を貯めている人が多いのだろうと思った。

神戸西部地区幹事 仁木 美枝子



水と、空気と、睡眠と。

## 東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

## 睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。

正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

## 《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

◆セミナーに関しましては、下記のメールフォームよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。

<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



# 報告 OB研修 映画会「ぼけますから、よろしくお願ひします」

日時：2022年11月19日（土）13:00~16:00  
 会場：兵庫県看護協会ハーモニホール  
 参加者数：113名（会員 53名、非会員 23名、看護学生37名）



OB支部研修として、ドキュメンタリー映画を上映しました。  
 上映の後、参加者間で、ディスカッションの予定でしたが、最近のコロナ感染数の増加に鑑み、意見交換会は残念ながら中止になりました。

OB支部 加集幹事より、昨今の高齢人口増加に伴い、在宅介護の中で、「老々介護」「認認介護」が増えている。映画を見て、現場に活かして欲しいという事と、学生の皆さんも臨床実習が少なくなっている中、是非参考にして下さいと挨拶がありました。

服部会長からは、7月に行われた参議院議員選挙のお礼と、友納議員が、11月17日参議院厚生労働委員会で見守り委員会とともに請願している保助看法70年の歴史の中で、改正されなかった医療職棒給（三）について質問した事が紹介されました。

さて映画は尾道で暮らす87歳の母（アルツハイマー型認知症）95歳の父と娘（信友直子ドキュメント映画監督）の3人の物語です。病気に直面し苦悩する母、95歳で初めて家事を担当し、献身的に母を支える父、仕事を捨てて、実家に帰る決心がつかず、揺れる娘の1200日の記録で、2016年にテレビで放映され、大反響をよび、再編集されたものです。書籍化もされています。

感動の中で、1時間42分があっという間に過ぎ、皆様アンケートにしっかりと答えていただけました。続編を見たいと多くの方が答えておられます。

続編は、脳梗塞で倒れた母と父をおい、2022年3月から上映されています。

「ぼけますから、よろしくお願ひします」～おかえり お母さん～ です。

文責：但馬支部 古川 綾子



## アンケートより

- まさに今両親の介護中であり、タイムリーな内容で、改めて考えさせられたり、納得させられたり、そして訪れる自分の将来について、考えるべき問題が山積みの映画でした。
- こんなに寄り添う夫婦って素晴らしい。
- お互いを思い合っている様子がよくわかりました。こんな夫婦・親子になりたいな
- 長生きって、何だろうと思うことがあります。でも夫婦のキズナは深いと思いました。
- 看護の先輩の方達と映画の後、話がしたかったです。



## プレゼント

宮城県看護連盟を通じて、除菌用ウエットシートをいただきました。

会員の皆様から「五弁の花」や「News Hyogo」のご感想、そして連盟へのご意見をくださった方々にプレゼントさせていただきます。

下記のQRコード、連盟のホームページ、FAXなんでも結構です。皆様からのご投稿をお待ちしています。

## 兵庫県看護連盟

Hyogo Nursing Federation  
 E-Mail: renmei-h@ceres.ocn.ne.jp



## 編集後記

（広報委員：仁木、平川、古川、丸岡）

夏の日差しを遮ってくれた構内の木々の葉は、黄や赤に色づき一面にあでやかな絨毯を敷き詰めてくれています。なんだか少し物悲しくなる季節ですね。

2020年から私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染の第8波の到来、更にインフルエンザの同時流行「ツインデミック」が懸念されております。感染のはじまりから医療現場の大変さは少しずつ形を変えながらも依然として緩和されてはいません。すでに現場の疲弊の声も耳にします。こんな時こそ看護職員への期待が高まります。どうぞみなさんからの声を看護連盟に届けてください。



兵庫県公館の正面玄関

バイタル機器連携ソリューション

### EVI Cloud

バイタルデータをまとめて送信・まとめて管理。  
データ入力業務の負担を軽減、業務効率を最大化します！

- 情報の漏れ
- おぼつかない
- おぼつかない
- おぼつかない
- おぼつかない

機器を固定しない  
機器選定が可能

機器追加・変更が  
容易で容易に

電子カルテへの  
リアルタイムな  
入力・記録を実現

入力力・未入力  
の予防

記録時間の  
短縮・効率化

## MISSION

医療業界の IT 分野に  
様々な信頼されるソリューションを。  
それが私たちの使命です。

Safe medical sistem 診療と安心を医療現場へ

### Doktor

株式会社イードクトル

06-6324-6222 9:00~17:00月~金  
(祝日・弊社指定休日除く)

セミナー・製品勉強会・デモンストレーションのご用命は上記までご連絡ください